



2013-2017 Five-Year Plan

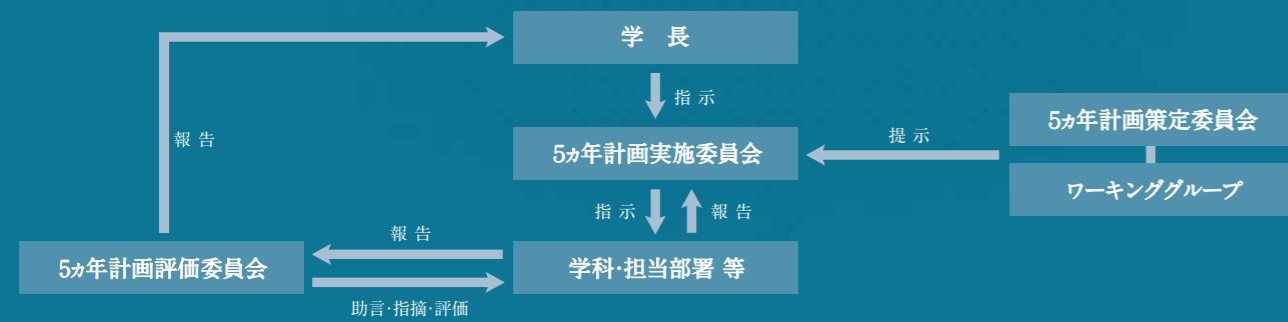
Kyoto University of Foreign Studies and Kyoto Junior College of Foreign Languages



20132017

5
カ
年
計
画

5カ年計画実施に関する組織図



京都外国語大学
Kyoto University of Foreign Studies
京都外国語短期大学
Kyoto Junior College of Foreign Languages

京都外国語大学 外国語学部
 英米語学科 | スペイン語学科
 フランス語学科 | ドイツ語学科
 ブラジルポルトガル語学科
 中国語学科 | 日本語学科
 イタリア語学科 | 国際教養学科

大学院 | 外国語学研究科 博士前期・博士後期課程

留学生別科 |

京都外国語短期大学 | キャリア英語科

【総合企画室】

〒615-8558 京都市右京区西院笠目町6
 TEL 075-322-6710 FAX 075-322-6751
 URL <http://www.kufs.ac.jp>



京都外国語大学
Kyoto University of Foreign Studies
京都外国語短期大学
Kyoto Junior College of Foreign Languages

新たな挑戦。 未来への胎動がはじまる。



5ヵ年計画を始めるにあたってのごあいさつ

現在、日本の社会は戦後以来の大きな転換期を迎え、さまざまな分野で果敢な試みがおこなわれています。大学においても、グローバル化の市場競争と淘汰の嵐の中で、来たるべき新しい社会を支えていく人材をどのように育てていけばいいのか、いま私たちはこの古くて新しい命題と日夜取り組んでいます。

このたびの「5ヵ年計画」は、そうした本学の人材育成への何等かの有効な指針を与えるものになると確信しています。

周知のとおり、私学経営は正念場を迎え、教育をキーワードにサバイバルゲームを展開しています。そして私たち私学人には、自らの存在意義、特色を明確に作り出す戦略と、その実現のためのマネジメントが求められています。そして大事なことは、従来の抽象的な役割論ではなく、重要な一翼を担っている教職員の問題意識や提案が大学の運営や改革に生かされるような仕組みになっているかにあると考えています。人材の育成には、このような時代でも自由な伸び伸びした豊かな環境づくりが必要であると考えております。

建学の精神を基にした「5ヵ年計画」の実施により、これから本学のブランド力がいちだんと高まるものと確信しています。どうか、「5ヵ年計画」へのご理解並びにその具現化へのご協力を賜りたく存じます。

理事長・総長 **森田 嘉一**
MORITA Yoshikazu

このたび京都外国語大学・京都外国語短期大学は、5ヵ年計画(2013-2017)具現化のための行動計画を策定いたしました。

このたび本学は、建学の精神に基づき、5年間のビジョンを「言語を通して世界の平和を」の国内外への発信と次世代指導者の養成」と定めました。そして、5ヵ年計画における目標を「想像力豊かで逞しく羽ばたくグローバル人材の育成」「安心して学び働ける環境の充実」として、その目標を達成するために6つの柱を掲げました。

この6つの柱を達成することによって、京都外国語大学・京都外国語短期大学はより一層の輝きを増して、地域社会はもちろんのことグローバル社会においてもその存在価値を高めていきます。

今回の5ヵ年計画の間に、学校法人京都外国語大学は創立70周年の節目を迎えます。これまでの伝統に甘んじることなく常に行動に責任を持ち、グローバル化が進展する未来に向けて全教職員の英知を結集し、大学の改善を進めてまいります。

京都外国語大学・京都外国語短期大学は、学生とご家族、卒業生、教職員、さらには地域社会、国内外の関係者等多くの人々との繋がりによって支えられています。みなさまには、本学のミッションへのご理解と、5ヵ年計画の実現へ向けのご支援を心よりお願い申し上げます。

学長 **松田 武**
MATSUDA Takeshi

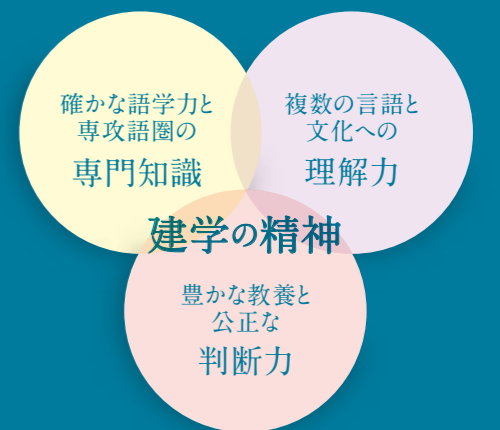


[建学の精神]

バックス ムンディ ベル リングアス
PAX MUNDI PER LINGUAS
言語を通して世界の平和を

いまなお世界各地で争いが絶えないのは、異なる言語や文化を持つ人と人との理解が不足しているからにはかたがたではありません。相手を理解するために必要なのはまず言葉です。しかしもっと通じ合うためには、言葉を学ぶだけでなく、お互いの文化を知り、相手を思いやる心を育むことが大切です。世界の人たちと本当に分かり合うために、京都外国語大学の建学の精神「PAX MUNDI PER LINGUAS」(言語を通して世界の平和を)は、これまで以上に重要な意味を持ってきています。世界のさまざまな言葉と文化の学びを通して、いろいろな人たちと交流することで、独自のネットワークを築いていこうというのが本学の建学の精神の持つ意味なのです。

[教育目標]



本学の教育の理念は「国際社会の平和に貢献し、次世代を担うことのできる『人間力』豊かなリーダーの養成」です。本学が求める「人間力」とは、「国際社会の一員としての責任を自覚し、教養豊かな魅力ある人間として力強く生きていくための総合的な力」のことです。

育てる3つの力

1. 確かな日本語力と実践的な外国語運用力
2. 社会性、対人関係性の向上に資するコミュニケーション力
3. 日本及び外国の文化の理解に基づく多文化共生実現力

京都外国語大学・京都外国語短期 大学が掲げるビジョンと6つの柱

Kyoto University of Foreign Studies and Kyoto Junior College of Foreign Languages—Six Key Themes, One Vision

京都外国語大学・京都外国語短期大学は、
「5ヵ年計画」を推進するにあたり、
建学の精神「言語を通して世界の平和を」に基づき、
5年間(2013年～2017年)のビジョンを設定しました。
このビジョンに基づいて、具体的な計画を展開してゆきます。

Kyoto University of Foreign Studies and Kyoto Junior College of Foreign Languages have set out a five-year vision (for 2013–2017) to implement our Five-Year Plan that embodies our university's motto of PAX MUNDI PER LINGUAS ("world peace through languages"). Based on this vision, we will execute specific plans.



6つの柱の具体的な目標・計画

教育の質

教育の質保証

京都外国語大学・京都外国語短期大学の学生が備えるべき高度な語学運用力と、社会から求められているジェネリックスキル(社会人基礎力)の修得を約束します。さらに、異文化交流の機会と場を増やし、多言語・多文化社会で活躍できる人材を育成します。

- 母語運用力(情報収集力+思考力+表現力)の強化
- 全専任教員のオフィスアワーの実施
- 外国語自律学習支援室(NINJA)の設置
- 評価指標の開発(語学運用力・ジェネリックスキル)
- 国際センター(仮称)の設置
- カリキュラム運用の厳格な点検
- 成績評価(出席管理含む)の厳格かつ公正な実施

学生支援体制

学生から信頼される支援体制の構築

「学習支援」「生活支援」「キャリア支援」の3つの視点により、学生から信頼される支援体制を確立します。そして、支援を一元化することで、学生一人ひとりが満足でき、京都外国語大学・京都外国語短期大学に入学して良かったと言ってもらえるような、新しい仕組みを構築します。

- サポートセンター(仮称)の設置
- 奨学金・支援金制度の見直し
- キャリア支援のための新しい仕組みの構築
- 就職情報の共有

研究

特色ある研究の推進

外国語大学の特色を活かした研究を推進します。また、グローバル化の時代にふさわしい、海外との共同研究の促進や学内学会の拡充によって、研究基盤を確立し、その成果を内外に発信してゆきます。とりわけ、「本学独自の語学教育メソッドの開発・推進」に積極的に取り組みます。

- 本学独自の語学教育メソッドの開発・推進
- 教養教育と専門教育を有機的につなぐ手法の確立
- 海外との共同研究の推進
- 学内学会の拡充

組織・マネジメント

組織機能の活性化

教員組織・職員組織のさらなる活性化を図るため、教職員の意識改革と能力開発を図ります。また、「本学が求める学生」を確保するため、学内外の組織との有機的な連携に積極的に取り組みます。

- 教職員の評価システムの検討・導入
- FD・SDの強化
- 入試制度の見直し
- 入試広報と大学広報の一元化
- ホームページの充実(英語等による発信)
- 大学院組織の再検討
- 国際センター・サポートセンター(仮称)の設置

施設・設備

国際性豊かで快適なキャンパスの実現

外国語大学にふさわしい、国際性豊かで快適なキャンパスを実現します。学生生活を豊かにするアメニティーを充実し、安心・安全な環境を整備します。

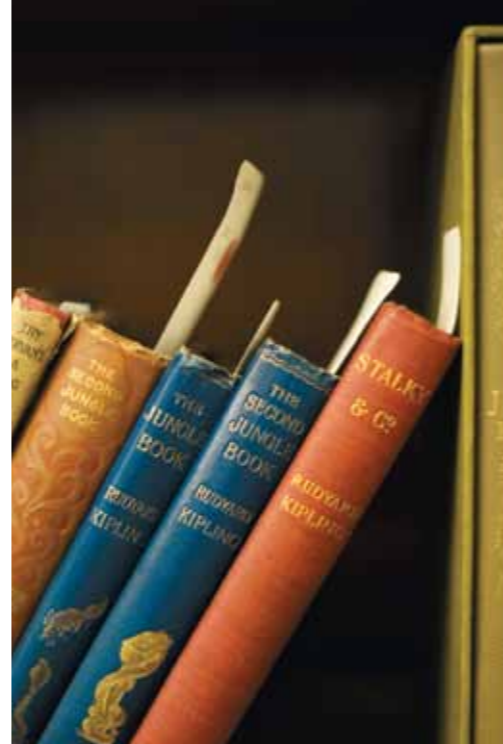
- 外国語自律学習支援室(NINJA)の設置
- 4号館・5号館(新設)の有効活用の検討
- キャンパスの公共空間の無線LAN化
- 電子掲示板の設置
- 学生生活を豊かにするアメニティーの充実

財務

財政基盤の強化

大学・短期大学のさらなる発展のために、財政基盤を強化します。財務分析など「見える化」を推進し、外部資金(補助金等)の獲得に積極的に取り組みます。

- 外部資金(補助金等)の獲得
- 収益事業(各種エクステンション講座・WEBコンテンツの販売等)の検討
- 大学(短期大学)活動のための寄付金募集活動強化
- 適正な支出策の策定及び予算管理委員会(仮称)の設置



新設

教育の質を高めるための外国語自律学習支援室(NINJA)の設置

Navigating an Independent Non-stop Journey to Autonomy

外国語自律学習支援室(NINJA)とは、外国語を通じ、自律学習者を育成する施設です。NINJAには3つのエリアがあり、専任のラーニング・アドバイザーが常駐し、学習者一人ひとりに合った学び方を見つけることができます。



アドバイザーエリア

「何をどう勉強していいかわからない」、「勉強の時間がない」などの悩みを気軽に相談できるエリアです。ラーニング・アドバイザーが適切に支援し、学生自らが課題を解決する力をつけていきます。アドバイザーが学習者一人ひとりのニーズに合わせて対応し、語学学習の課題を解消します。

コラボレーションエリア

世界各国からやってきた留学生や外国人の先生と気軽に話をするエリアです。ノートパソコンの画面を大型のモニターに映し出して、情報共有やディスカッションができます。また、スピーキングのレッスンやライティングの添削指導を受けることもできます。

ラーニングエリア

カラフルで移動可能なテーブル付きチェアを自由にレイアウトできるエリアです。この自由で独創的な環境は、少人数でのグループ学習やワークショップなどに利用できます。学習者は新たなアイデアを手に入れ、プレゼンテーションに活かします。

計画

国際性豊かなキャンパスの実現に向けた5号館の新設

学生にとって豊かなキャンパスライフを実現するためのキャンパス整備事業として、本学第1分館と道を隔てて南側に隣接する本学所有地に「京都外国語大学5号館」として新しく、教室・大学院棟を建設します。建物の工事着工は、2014年5月、完成・使用開始は、2015年4月を目指しています。

- 敷地面積: 約1,200㎡(約363坪)
- 建設面積: 約500㎡(約151坪)
- 延床面積: 約1,992㎡(約603坪・容積率200%)
- 使用計画: 1階 事務室、会議室
- 2階 教室
- 3階 教室
- 4階 大学院生の研究室

